

町内全域（養老町）

令和元年度事例

【地域の概要】

- 岐阜県の西南部、濃尾平野の最西端に位置し、農地面積は約2,630ha（田2,440ha 畑190ha）で、水稻中心の水田農業が行われている。
- 平成30年度末時点で1,968ha（75%）の農地が担い手に集積されている。

取組開始前の状況や課題

- 農家の高齢化が進んでおり、将来に渡り地域の農業の担い手を明確化する必要がある。
- 人・農地プランにより地域の受け手は明確化されているが出し手が明確化されていない。
- 平成24年に意向アンケートを実施しているが、当時とは状況が異なるため今回改めて意向アンケートを実施する必要がある。

取組内容

- 活動計画を立てて、「農地に関する意向アンケート」を実施する。
- 町内を10地区に分け、農業委員・農地利用最適化推進委員が中心となり調査票の配布及び回収を行う。
- 70歳以上で自作地が5反以上ある人とする。（239人、240ha）
- 発送は事務局で行い、回収を農業委員、農地利用最適化推進委員に依頼。
- アンケート回収時にアンケート内容以外で未相続農地についての手続きや、今現在の農地の管理状況についても聞き取りしてもらう。

今後の展開と方向性

- 回収したアンケート結果を基に、耕作者の意向などを反映した地図を作製し、人・農地プランの実質化に取り組む。
- 毎年開催している地区ごとの人・農地プラン検討会において、アンケートを集計した結果を活用し、プランの見直しを図っていく。